

平成29年度
公益財団法人山口市文化振興財団
事業計画

平成29年3月

I 基本目標

山口市から管理運営の指定を受ける山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて各施設の持つ特性を生かしながら、さまざまな文化に触れる機会、参加する機会などを提供する企画事業を実施し、山口市における文化振興の一翼として、文化を育むまちづくりに寄与するよう努める。

II 基本方針

市民自らが多様な文化活動へ参加し、芸術文化を享受できる文化環境づくりを目指し、鑑賞、参加型及び創造型の企画事業を展開するとともに、広く文化に関する情報を収集し提供する。また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を促進、支援するための事業を行う。

なお、これらの事業を実施するにあたって、単年度計画に基づく事業計画の策定及び事業の実施という形態のみでなく、長期的視点からの事業計画や新たな発想による事業展開をめざすとともに、これに基づく具体事業の年次的実施による事業内容の充実に向けた取り組みを推進する。

III 個別事業計画

定款第4条に掲げる6事業のうち、企画事業、育成・支援事業、調査研究事業、情報収集・提供及び施設の管理運営受託事業については、以下のとおりとする。

1 企画事業

当財団が所管する山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を生かしながら文化振興に関する各種企画事業を実施し、文化に触れる機会、参加する機会などの拡充を図るとともに、事務局においては、幅広い市民の皆様が楽しめる娯楽性の高い事業の企画展開を図る。

(1) 事務局

山口市市民会館、山口情報芸術センター等、市内の文化施設を活用し、広域的かつ幅広い年齢層を対象にしたポピュラー音楽などのコンサート、舞台芸術などの公演を実施する。

(2) 山口市市民会館

オーケストラや演劇公演など質の高い鑑賞機会の拡充、また伝統芸能の理解を深めていただく公演の開催を目指すとともに、市民参加型のコンサートの開催など市民に多様な芸術文化の鑑賞機会を提供する。

(3) 中原中也記念館

中原中也を軸として、その軌跡や親交のあった人物を紹介するテーマ展示や企画展、特別企画展を実施するとともに、中也の人と作品を分かりやすく解説し、理解を深める一助として、講演会や学芸担当職員による読書会を開催する。また、中也が好んだ〈朗読〉をテーマにした市民参加型イベント〈生誕祭〉を実施する。

(4) 山口情報芸術センター[YCAM]

YCAM は、メディアと芸術の融合をコンセプトに先端的な芸術表現に取り組むアートセンターとしての独自性を維持しつつ、文化施設の役割である「文化の振興」を担うべき市民との関わりを意識した事業展開を進める。

- 「YCAM でなければ生み出せないオリジナル作品の制作」
メディア・テクノロジーを応用したオリジナルの作品を制作・発表することを重視することで、これまでも国際的に高い評価を得てきた。“新しい価値の創造”が市民から関心と理解を得られるよう、分かりやすさの工夫と、身近で社会性のある題材をテーマに取り組む。
- 「メディア・テクノロジーと市民をつなぐ教育プログラムの提供」
芸術分野に留まらず、メディアを取り巻く様々な環境を包括した「学び」を広く提供するため、運営体制や人材育成を市民レベルに広げ、教育ワークショップを始めとする様々な事業を施設内外で展開していく。
- 「地域の課題や資源とメディア・テクノロジーの融合」
さまざまなかたちで蓄積したメディア・テクノロジーにまつわる知識や経験を、山口の地域課題や資源に結びつける取り組みを重視していくとともに、市民のものづくり活動を積極的に支援していく。

2 育成・支援事業

財団友の会会員へのサービス向上を図るとともに、組織の拡充に努める。

また、市民が日常的に文化に触れ、あるいは文化活動に取り組む機会の拡充を図るため、市民の自主的な文化活動に対し助成金を交付し、側面的に支援する事業を継続実施する。

(1) 友の会の拡充と運営

公益財団法人山口市文化振興財団友の会「Ars Nova Yamaguchi」(呼称:エニー)の会員について、既加入者の継続加入及び新規加入の促進を図る。

① 会員期間

入会日から翌年の入会月末まで

② 会員種別

種 別	対象者	入会金(更新時には不要)	年会費
個人会員	個人	500円	1,500円

③ 会員特典

- ・チケットの先行予約及び割引購入
- ・情報誌(4・7・10・1月発行)及び催物案内(毎月末)の定期送付
- ・入会時及び更新時に YCAM シネマ及び中原中也記念館の招待券進呈
- ・協賛店での優待あり

④ 会員数の推移(件数)

種 別	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
個人会員	938	973	965	856	944	935

(2) 市民文化活動支援事業助成金交付事業

営利を目的としない市内の個人及び団体等が行う文化事業に助成支援するため、平成9年度に創設した「公益財団法人山口市文化振興財団市民文化活動支援事業」を継続実施する。

また、市報への掲載等による広報を行い、より多くの市民の自主的かつ創造的な芸術文化活動を支援する。

① 募集期間

平成29年3月1日～3月31日

② 助成金額

一事業につき50万円を上限

③ 審査方法

審査委員会の設置、開催

④ 申請及び採択件数の推移 ()内は中也における文化振興事業数

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
申請件数	13	27	16	26(3)	18	12
採択件数	13	25	16	21(3)	17	11

3 調査研究事業

(1) 中原中也研究

関係資料の調査、収集、複製の製作等により、中原中也研究を推進する。

(2) 自主企画事業に関する調査及び研究

公演ごとのアンケート調査を随時行い、事業企画に対する市民ニーズ等の調査研究を進める。事業成果のまとめとしてドキュメント制作、展示・公演記録や、ワークショップパッケージ等のパブリシティに関わる作業を行う。

4 情報収集・提供事業

(1) 情報誌「any」の刊行

平成9年1月から刊行している情報誌を年4回(季刊)、継続刊行する。

(2) 山口市民会館催し物案内の発行

市民会館における催し物を紹介案内する広報紙を月1回、継続発行する。

(3) 中原中也記念館館報第23号の発行

活動記録、寄稿文等を掲載する館報を年1回、継続発行する。

(4) 機関紙「中原中也研究」第22号の刊行

研究論文、エッセイ、シンポジウム記録等を掲載する機関誌を年1回、継続刊行する。

(5) 山口情報芸術センター催し物案内の発行

山口情報芸術センターにおける催し物を紹介案内する広報物を継続的に発行する。

(6) ホームページの充実

財団及び山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市民会館のホームページにより、イベント情報を随時発信する。また、平成19年4月からは財団の主催・共催公演に関して、財団及び山口情報芸術センターのホームページからもチケット予約ができるシステムを整備、友の会への入会・更新もホームページ上から手続き可能となっている。

5 施設の管理運営受託事業

当財団が所管する山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターの管理運営において、「安全、安心、快適」に利用していただけるよう適切な業務を行う。

また、山口市民会館、山口情報芸術センターにおいては、市条例に基づいた施設の貸与事業を行い、利用者のニーズを踏まえた施設運営に努める。

6 企画事業一覧

区分	事業名	開催時期	内容
事業企画	島地保武×環 ROY 『ありか』	9月23日(土)、24日(日) 山口情報芸術センター	ザ・フォーサイズ・カンパニーでの活動をはじめ、国内外で作品を発表してきたダンサーの島地保武と、音楽を軸にパフォーマンスやインスタレーションといった多彩な領域で活躍するラッパーの環 ROY。ダンスとラップという異なるシーンの最先端で注目を浴びている二人が、自身の固定観念やジャンルへの先入観を揺さぶりながら挑んだ新しいスタイルのライブパフォーマンスです。
	チェルフィッチュ『三月の5日間』ーリ・クリエイションー	平成30年2月12日(月・祝) 予定 山口情報芸術センター	2003年、アメリカ軍がイラク空爆を開始した3月21日。この日を含んだ5日間における、数組の若者たちの日常を描いた本作。それまで当たり前とされてきた劇構造を根本から疑い覆す革新的な戯曲と身体表現で、日本現代演劇界にインパクトを与えました。2005年第49回岸田國土戯曲賞を受賞後は、世界30都市以上で上演、国内外で高い評価を得続け、日本現代演劇の転機として語られるチェルフィッチュ・岡田利規の代表作です。 2007年4月、YGAMでも上演され、多くの鑑賞者に衝撃を与えた本作が、メンバーを一新し新たに生まれ変わります。
	共催事業 「ケロポンズ わくわくコンサート」	平成30年3月3日(土) 山口市民会館	認定NPO法人こどもステーション山口と共同で開催するコンサート事業。保育園や幼稚園、今や小学校の運動会でも大人気で、動画再生1千万回を超えるスーパーヒットとなった『エビカニクス』や、NHKの幼児番組で知られるケロポンズ。 子どもだけでなく大人も一緒に楽しめる、歌あり、笑いあり、あそびあり、体操あり、ミュージックパネルあり、なんでもありのステージです。

区分	事業名	開催時期	内容
山口市民会館	特撰落語会 円楽・好楽・三平 三人会	4月30日(日) 14:00 開演	人気テレビ番組「笑点」でおなじみの三遊亭円楽・三遊亭好楽・林家三平による落語会。
	ハンブルク交響楽団 山口公演	7月2日(日) 17:00 開演	初来日となるドイツの名門オーケストラ「ハンブルク交響楽団」による演奏会。 ソリストに、大河ドラマ「真田丸」のテーマ音楽を演奏した、ヴァイオリニストの三浦文彰を迎える。
	ポール・モーリア ラブ・サウンズ・コンサート (仮称)	10月2日(月) 18:30 開演予定	ジャン・ジャック・ジュスタフレ・グランド・オーケストラによる、ポール・モーリア・サウンド(大人向けのイージーリスニング)の演奏会。
	山口県交響楽団 定期演奏会 (仮称)	12月10日(日) 開演時間未定	山口県交響楽団の発祥の地である山口市で、定期演奏会を開催。
	山口きずな音楽祭 Vol.9 (仮称)	12月25日(月) 開演時間未定	サビエルと当主大内義隆のきずなで生まれた、山口クリスマスの歴史を、音楽を通じて次世代に伝えることを目的としたコンサート。
	第22回ニューイヤー バンドフェスティバル 2018	平成30年1月20日 (土) 10:00 開演予定	山口県吹奏楽連盟加盟団体が、平素の練習成果を発表するとともに、他団体の演奏を聴くことにより、演奏技術ならびに音楽表現力の向上を深め、あわせて各団体の親睦を図るためのコンサート。
	第45回市民コンサート	平成30年3月21日 (水・祝) 13:00 開演予定	年度内に開催された各種コンサートにおいて優れた成績を収めた方々や、平素から熱心に音楽活動が続けている方々を招いての“アンコールコンサート”。

区分	事業名	開催時期	内容
中原中也記念館	第 14 回テーマ展示 「私が選ぶ中也の詩」	2 月 15 日(水)～平成 30 年 2 月 12 日(月・ 祝) ※特別企画展会期中 を除く	<p>没後 80 年を経ても、なお読み継がれている中原中也の詩。老若男女を問わず多くの人に愛されるその魅力についてあらためて問い直します。本展では、中也の詩に親しまれているアーティストの方々にお気に入りの詩を選んでいただき、その詩についてのコメントとともに紹介します。</p> <p>また、平成 26 年に刊行した『出会い？ 発見?! 感動!! 中也読本』より、山口市の中学生が選んだ中也の詩を展示します。さらには、中也の友人たちなど、中也と同じ時代を生きた人々が、中也の詩をどう読んだのかについて紹介します。中也を通じて、人それぞれの様々な感性とふれあえる展示です。</p> <p>※第 15 回テーマ展示「中原中也の散歩生活」 (仮) 平成 30 年 2 月 15 日(水)～平成 31 年 2 月下旬</p>
	特別企画展 「詩が生まれた場所 へ—中也の見た風景」	7 月 27 日(木)～10 月 1 日(日)	<p>詩人・中原中也は明治 40 年に生まれ、明治・大正・昭和の異なる時代を生き、30 年という短い生涯を駆けぬけました。</p> <p>中也の作品は、日常で出会った様々な場所から生み出されています。故郷の景観地・長門峡、都会のカフェー、愛児と行った動物園…。現代を生きる私たちにも共感を呼び起こす中也の詩ですが、中也が実際に見ていた風景はどのようなものだったのでしょうか。</p> <p>本展では、作品の舞台や中也を育んだ「場所」に焦点を当て、当時の風景や時代風潮を紹介しながら、古くて新しい中也詩の世界を探訪します。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
中原中也記念館	企画展Ⅰ「山頭火と湯田温泉」	4月19日(水)～7月23日(日)	<p>山口県防府市出身の自由律俳句の俳人・種田山頭火。昭和7年、山口市の小郡に「其中庵」を構えた山頭火は、そこから頻りに湯田温泉に通い、温泉にまつわる句をたくさん生み出しました。</p> <p>昭和13年には、湯田温泉に移住し「風来居」を結庵。生前の中原中也と会うことはありませんでしたが、中也の弟・呉郎や詩人・和田健らと深い親交を結んでいます。</p> <p>本展では、山頭火と湯田温泉との関係を探り、あわせて中原家との意外な接点にも迫ります。</p>
	企画展Ⅱ(コラボレーション企画 前期)「コミックのなかの中也」	10月4日(水)～平成30年1月21日(日)	<p>2013年『ヤングエース』誌上で連載が始まり、アニメ化もされた人気漫画「文豪ストレイドッグス」。敵役登場するキャラクター「中原中也」は読者からの人気が高く、この漫画をきっかけに中也の詩に興味をもったという人も少なくありません。</p> <p>本展では、中也や中也の詩が物語に深く関わるコミック「文豪ストレイドッグス」「最果てにサーカス」「文豪失格」「眠兎(ミント)」「含羞(はぢらひ) 我が友中原中也」を取り上げ、それぞれの特徴と魅力を紹介します。</p>
	企画展Ⅱ(コラボレーション企画 後期)「山口盆地考 2018.....吹き来る風が.....」	平成30年1月24日(水)～平成30年4月15日(日)	<p>現代アートの展示やワークショップ、レクチャー等を企画・開催している山口現代芸術研究所(YICA)は、2018年に設立20周年を迎えます。「山口盆地考」は、この街の歴史や文化を自然環境と一体のものとして見つめ直す、YICAからの提案です。サブタイトルは中也の代表作「帰郷」の一節を借りています。「あゝ おまへはなにをして来たのだ」という問いかけに促された表現者たちの作品を見て、皆さん自身もさまざまな風と対話して頂きたい、と願っています。</p> <p>現代アートは、自由な発想、多様な素材、そして私たちが生きているこの時代と社会に対する深い関心の特徴としています。そこには中也の詩と同じように、つねに新しい感性との共鳴があるのです。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
中原中也記念館	屋外展示	前期 5～10月 後期 11～4月	中也ゆかりの山口線をイメージした枕木を敷きつめている中庭では、テーマ「旅」にちなんだ中也の詩を紹介します。
	公開講演	第1回 9月23日 (土・祝)	9月は「中原中也の会」との共催により講演会を行います。(講師等は未定)
	中原中也を読む会	毎月第4金曜日	教育普及事業として実施。テーマに沿った中也の詩を読み込んだり、記念館の展示を学芸員の解説とともに見学するなど、気軽におしゃべりしながら、詩の世界を楽しく味わうことができます(無料)。
	中原中也生誕祭「空の下の朗読会」	4月29日(土・祝)	中也の生誕日に前庭で開催。詩の朗読を好んだ中也にならない、自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会と、小室等＋こむろゆいのコンサートをを行います(無料)。
	中也忌～墓前祭と中也に捧げる夕べ	10月下旬	中也の命日10月22日前後にあたる週末に、中也が眠る「中原家累代之墓」にお参りし、夕方からは朗読やミニコンサートなどを行い、中也を追悼します(無料)。
山口情報芸術センター	オープンフォーラム (国際ラボミーティング)	12月8日(金)～10日(日)	平成30年の開館15周年に向けたプレ記念事業として、YCAMの多様な活動を当事者によるプレゼンテーションを通じて世界と地域に向けて発信します。 また、開館15周年時における山口市内での実践的な取り組みに向けて、地域の人々を含む、文化や教育、産業に関わる多様な関係者同士が直接交流する機会を設け、「山口」からの更なる価値の創造と発信に努めます。 事業内容 YCAMの活動の具体的な内容や魅力を、多様な関係者を招いたカンファレンスを軸に、展示、ライブイベント、ワークショップなどのイベントを複合させることで発信します。

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	細尾の共同研究成果発表(LabACT)	12月8日(金)~10日(日)	<p>平成27年に公開したプロミス・パーク展から派生した織物×ICTの研究開発事業の成果展示(ショーケース)をオープンフォーラムの開催時期に合わせて行います。</p> <p>事業内容 以下の研究開発成果を技術的な新規性、アーティスト、デザイナー、建築家などによる発展的なプロトタイプとして展示します。</p> <p>① 織物の組織を再構築する研究開発 ② 電子制御が可能な新規素材の研究</p>
	パフォーミングアーツ新作クリエイション+アウトリーチ	9月(予定)	<p>YCAMでは開館以来、メディア、身体をテーマにオリジナルの舞台作品を製作、発表してきました。今回は、ダンサー、振付家のイスラエル・ガルバンとの共同制作を予定しており、平成30年度の公開を目指した滞在制作と、その途中経過の一般公開を行います。</p> <p>一般公開 バックステージツアー、もしくはガルバンによるデモンストレーションなど(予定)</p>
	パーセプション・エンジニアリング 2017 (ワークショップとインスタレーション開発)	12月(予定)	<p>平成28年以来、パーセプション・エンジニアリングでは、ダンスとは異なる分野の専門家たちとコラボレーションをすることで、より幅広いターゲットを想定した研究開発を行ってきました。今回は、平成28年度に共同で制作したワークショップ「パーソナルスペース再発見」について、YCAMでいつでも実施できるよう技術・機材の開発を進めます。</p> <p>また、大脇理智+YCAM「新作インスタレーション」として、これまでの成果を踏まえたインスタレーションの制作と発表を行います。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	地域独自の創造性を発信する、地域開発ラボ事業	通年	<p>YCAM が開館以来培ってきたメディア・テクノロジーに関する技術やデザイン力を地域社会へ還元することで、文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に活用し、地域課題の解決に取り組みます。</p> <p>事業内容： [YAMA BIO KITCHEN] バイオ・リサーチとの共同ワークショップやキッズキッチン、シネマキッチンを開催します。</p> <p>また、毎月第3日曜日に、YCAM前の中央公園でマーケットを開催するほか、各種展示、オリジナル商品の開発を予定しており、「食」をテーマにしたコミュニケーションの場づくりを行います。</p> <p>[tech × 山・商店街 (RADLOCAL2 のパッケージ化)] 「RADLOCAL」は、地域／メディア／人にフォーカスを当て、新しいタイプの地域プランナーを育成する集中ワークショップです。今回は、地域おこし協力隊の制度を活用し、地域での起業推進及び、仕組みをデザインする next commons lab との協議を進めます。</p>
	GRP Seeds (YCAM 滞在研究事業)	通年	<p>国内外の研究者を YCAM に招聘し、現在までの YCAM における数々の実践を基盤とした共同研究をおこないます。具体的な研究の例としては、地域に潜るアジア、千年村プロジェクトなどの地域連携事業に関する実地調査、コロガルパビリオンなどの実践を踏まえ、次世代の人材育成に向けたワークショップの実施とその分析、YCAM のプロジェクトアーカイブサイトである Re-Marks を活用した作家研究、インターラボにおけるモーションキャプチャシステム Motioner の改良版の開発、事業としての映画上映での上映・制作作品を対象とした比較調査などをおこないます。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	sound tectonics#19	未定	<p>開館時より、芸術表現の可能性としての空間意識や表現レベルの高い作品を、設備の整った環境で聴取する機会を提供している音楽イベントシリーズです。</p> <p>事業内容 ライゾマティクス・リサーチ真鍋大度氏とプログラマー・DJの徳井直生氏による「2045」を開催します。8000万曲以上のプレイリストを細かく解析したAIによるDJと人間によるDJが交互にプレイします。</p>
	sound tectonics#20	10月～11月4日 (土)計3回実施	<p>事業内容 舞台として用いるのは鉄道です。車両内のみならず、駅構内、走行中の音や風景や駅名、移動速度、電車にまつわるあらゆるものをメディアとしての展開を目指します。外部アーティストとYCAMで、さまざまな知見を交えたプログラムを構成し、この土地でしか実施できないライブイベントを実施します。</p>
	YCAM InterLab バイオリサーチプロジェクト 2017	通年	<p>バイオテクノロジーは、医療や食料品など、多くの側面で一般の人々の生活に関与してきています。この流れを受け、YCAM としても人々に必要とされるこれからのリテラシーについての考察をし、エデュケーションプログラム、芸術作品への応用を研究するため、バイオリサーチ設備を導入し、これまでに培ってきている他の技術との融合も積極的に視野に入れながら、これに取り組めます。</p> <p>事業内容 基礎的な研究開発に加え、前年度に開発した技術のブラッシュアップを兼ねながら2本のワークショップ制作と1本の公開を行います。また、論文の執筆と活動を紹介するウェブサイトの制作と公開を行います。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	YCAM ORIGINAL WORKSHOP	通年	<p>教育ラボではこれまで、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぎ、好奇心や想像力を刺激する教育プログラムを開発・提供してきました。</p> <p>平成 29 年度は新規プログラムの開発、普及活動の継続実施に加え、明治維新 150 年を視野に「学びのプラットフォーム」としての YCAM ブランド創出に向けて以下の企画を3つの柱として活動を行います。</p> <p>① 新規教育プログラムの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来の山口の授業 ・YCAM 社会見学 ・鑑賞教育ツール開発 <p>② 恒常的な実施／人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツハッカソン ・YCAM ORIGINAL WORKSHOPS <p>③ 教育ブランディングの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月間フライヤー作成
	未来の 5 教科 7 科目 プレワークショップ	平成 29 年秋	
	スポーツハッカソン	平成 29 年秋	
	学校教育事業「スポーツハッカソン for Kids」	通年	<p>平成 28 年度から 3 カ年計画で進めている当企画は、YCAM の教育コンテンツの存在や教育における効果などが、市内の小中学校に広く十分に周知され、山口市の教育資源としての活用が促進されることを目標に進めています。</p> <p>「スポーツハッカソン for Kids」は、児童に馴染みのある「スポーツ」という活動の中でメディア・テクノロジーとのふれあいを創出するプログラムです。</p> <p>対 象：小学校中学年以上 人 数：最大 70 名まで 年間実施校数：最大 6 校</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	YCAM シネマ	通年 毎週金、土、日曜日	<p>映画を映像表現、映像芸術の視点から、巨匠から新人作家、アニメーションからドキュメンタリーまで幅広いジャンルの新旧の優れた作品を上映し紹介します。新たな観客の発掘を兼ねた市民サービスの意味合いも含んだ集客の見込める作品も年に数本上映し、映画愛好家だけでなく、様々な年齢層やニーズにむけた作品を上映することで新たな観客の発掘につなげていきます。</p> <p>また、ゲスト招聘も含んだ特集上映を開催し、それらの作品に関わった作家やスタッフ、出演者、研究者が出演するゲストトークも適宜開催し、観客の作品に対する、より深い理解を促します。</p>
	YCAM Film Factory vol.3 染谷将太制作映画メイキング 360° 映像展示 + 映画上映	8月12日(土)～ 9月8日(金)(予定)	<p>俳優でもある染谷将太監督新作映画のYCAM内での撮影の様子を360度カメラにて記録したメイキング(制作現場)の映像を、ヘッドマウントディスプレイにて鑑賞できるようにし、本編映画とともに鑑賞できる体験型上映を目指します。</p> <p>俳優であり映画作家でもある染谷氏の制作現場記録映像を含めて、制作過程と一体的に映画作品を体験することによって、映画における演出と演技の関係性を提示します。</p>
	YCAM Film Factory vol.4 三宅唱監督 × YCAM InterLab 映画制作	4月～10月	<p>YCAM では、平成 27 年度より YCAM Film Factory として「自由な映画制作を模索する」プロジェクトを進めています。プロフェッショナルな観点と経験をもちつつ、既存の映画制作のみに捕われない自由な発想を持った映画監督と協同し、YCAM に蓄えられた他ジャンルに横断する知見を総合することで、コンパクトで、より自由な映画のありかたを模索しています。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター			<p>今回は、映画監督・三宅唱氏を招聘し、YCAM InterLabとの共同映画制作を行います。三宅唱氏には、これまでの多彩な映像制作活動によって培った経験によって、YCAM ヘインスピレーションを与えることが期待されています。また、地元山口で撮影制作する映画を通じて、新たな映画層の発掘と地域資源の開発・発信を行います。</p>
	<p>「YCAM 爆音映画祭 2017+SOUND TECTONICS」「真夏の夜の星空上映会」</p>	<p>【前半：8/3-6】爆音映画祭傑作選 & カナザワ映画祭 2017 in YCAM(仮題)</p> <p>【後半：8/24-27】YCAM 爆音映画祭 2017(爆音ライブ上映含む)</p>	<p>監修に樋口泰人(boid 主宰／映画批評)をむかえ、音楽ライブ用の音響セッティングを使い、大音響の中で映画を視聴する「爆音映画祭」を開催します。音と映像の関係について、メディア史の視点から映画を捉える YCAM ならではの映画上映イベントです。</p> <p>平成 29 年はコアな映画ファンの集客、来館が期待できる「カナザワ映画祭」とのコラボレーション企画を追加します。映画を批評的な視点で観るだけでなく、映画を楽しむ見方もできる、幅広い視点を持ったイベント上映とします。</p> <p>また、YCAM の夏の恒例行事「真夏の夜の星空上映会」は、すっかり涼しくなった夕暮れ時にお友達、ご家族と共に芝生でゆったりと映画を楽しむことができるイベントです。いつもとは異なる環境で映画を上映することで、日ごろ YCAM に来られない家族層への PR や新しい鑑賞方法の提案の場にもします。</p> <p>今回は、8/11 に、YCAM Film Factory vol.3 にて制作した染谷将太新作映画を上映します。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	プロモーション事業	通年	<p>YCAM の事業は、年々、多層化と多極化が進んでおり、多様な領域での成果が見込める反面、事業に対して理解を得るためのハードルが上がってきています。そのため情報発信には、そうしたリスクを回避しながら、事業のミッション達成を後押しするための工夫が求められています。</p> <p>具体的な取り組みとしては、事業のプロセスを一定のペースで可視化することや、主にマスメディアなど既存の外部メディアを活用した発信、ガイドブックの制作やポータルサイトを通じた発信など、多様なアプローチによる情報発信を積極的に進めることでYCAMに対する理解度を高めていきます。</p> <p>また、海外に対する情報発信については、英語にとどまらず、東アジアの文化圏もみすえた多国語対応や、サイトと SNS などの連携性を高める仕組みづくり等、積極的なプロモーションを進めることで、さらに発信力を強めていきます。</p>
	作品の修復保存 (CLOUD FOREST)	通年	<p>今回は、中谷英二子氏と高谷史郎氏によるインスタレーション作品「CLOUD FOREST」を修復保存します。この作品は2010年8月にYCAM委嘱作品として、YCAMで世界初公開されたものです。メディアアートの先駆者のひとりとして高い評価を受ける中谷と、ダムタイプなどで活躍する高谷のコラボレーションは話題を呼び、展覧会会期中に3万人を超える来場者を集めました。ここでは、これらの権利関係をクリアにしたうえで、パッケージ化を進め、YCAMでの再展示や巡回を行いやすい環境を整えていきます。</p> <p>また、本事業は、メディア芸術アーカイブ推進支援事業に申請し、そこから得られる助成金で運営します。</p>